

大分市立判田中学校 学力向上プラン1 (8月)

	学力状況について	学習状況について
児童の課題	<p>○2年生は社会は全ての項目で目標値及び県の正答率を上回っている。国語・数学は目標値は全ての項目で上回り、「作文(国語)」と「文字式(数学)」以外は県の正答率を上回っている。理科・英語は全ての項目で県の正答率を上回り、「力と圧力(理科)」と「場面に応じて書く英作文」以外は目標値を上回っている。</p> <p>○3年生は理科は全ての分野で全国・県の正答率を上回っている。国語の活用問題で1領域(書くこと)が全国・県の正答率を下回っている。数学の知識問題で1領域(資料の活用)が全国平均を下回っている。</p> <p>○低学力層(偏差値34未満)の生徒の割合が、目標値より少し高いので、振り返り学習や補充学習の更なる強化が必要である。</p>	<p>○家庭学習習慣は、全国や県と比べて身につけている割合が高く、学習時間も長い(1時間以上～2時間未満が多い)。</p> <p>○時間を意識して着席や授業準備ができ、落ち着いた授業態度が身につけている。</p> <p>○発表する生徒、忘れ物をする生徒が固定化している。</p> <p>○課題をもって人の話を聞いたり、授業に臨んだりすることが今一步できていない。</p> <p>○3年生は読書の時間が県や全国に比べて少ない(全くしないが45.0%)。</p>
指導の状況	<p>○2分前着席・1分前黙想や号令などの授業規律を教師が指導するだけでなく、生徒会活動を通して生徒自らが自主的に考え、協働的に行動することができている。</p> <p>○「学習コーナー」等を活用した補充学習を実施し、低学力層や学習習慣が定着していない生徒に対して、放課後や長期休業中に適宜学力補充を行っている。</p> <p>○「今日のめあて」「本時の課題」「まとめ」などの表記の100%徹底を図り、1時間完結授業を推進し、授業改善に向けて努力を重ねている。</p>	



学力に関する達成指標	<p>生徒の自主的・協働的な学習態度を育成するための授業改善を進め、「互いに考えを磨きあった」と感じる生徒の割合を95%以上にする。</p>
------------	--



	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<p>(授業改善テーマ)「互いに認め合い、伝えあい、深め合う生徒」を育成する授業づくり (授業改善の重点)○「主体的・対話的で深い学び」を推進する。 ○1時間完結型授業を推進する。</p>	<p>(達成指標) 設定なし</p>
	<p>(取組内容) ○意欲的に自分の意見を述べ、他の人の意見を傾聴する。ホワイトボード等を活用して自分と他者との意見の違いや共通点を見出し、自分の立場を明らかにした発言ができるようにする。</p>	<p>(家庭・地域の取組内容) ○授業に集中して臨めるように、家庭と連携して取り組む。 ○学校公開の際には多くの地域の方々に来校していただく。</p>
	<p>(取組指標) ・学習プリント等を活用し、自分の意見や考えを持たせた上で、グループやペアで意見の出し合いをさせる授業形態を多く取り入れる。 ・「授業に目的をもって臨み、毎時間のめあてを達成することができた」生徒の割合を、98%以上にする。</p>	<p>(家庭・地域の取組指標) ・授業用具の忘れ物がないように、保護者からの声掛けをしてもらう。 ・学校通信やホームページ等を活用して、多くの地域の方々に情報発信を行っていく。</p>
	<p>【その他の学力向上の取組】 ○事前に評価資料を生徒に提示したり、学期末に各教科の「がんばりどころ」を配布したりするなど、指導と評価の一体化を進め、生徒の学習意欲喚起に努める。 ○学期末に生徒自己評価を実施する。(教職員・保護者にも実施し、その結果を分析・検証・改善する。) ○朝学習において読書やドリル学習を実施し、読解力の育成や弱点補強を図る。 ○個別の補充学習をさらに充実させ、伸び悩む生徒への指導の充実を図る。 ○毎日ノート(成果のわかる毎日ノート)の指導(きめ細やかな添削と点検、具体的アドバイスの充実) ○学習指導と生徒会活動の両方を通して図書館の活用や読書の推進に努める。</p>	